

福島県地域活動団体 情報シート (2017年度)

| | | | | | |
|-------------------------------------|--|----------------------------------|-------------------|------------------------|-----------|
| 設立年 | 2012年 11月 | 設立後 | 満5年 | 法人登記 | 2012年 11月 |
| 法人格/ふりがな | 法人格名 | | ふらがーるずこうしえん | | |
| 団体名 | 特定非営利活動法人 | | フラガールズ甲子園 | | |
| 代表者氏名 | 小野 英人 | | 役職 | 理事長 | |
| 活動拠点 所在地 | 郵便番号 | 970-8025 | | | |
| | 住所 | 福島県福島県いわき市平南白土字八ツ坂132-1 ハッ坂ビル 2階 | | | |
| 団体TEL | 0246-68-8282 | | FAX | 0246-88-6009 | |
| URL | http://npo-hulagirls.org | | メールアドレス | info@npo-hulagirls.org | |
| 活動エリア | いわき | | | | |
| 活動分野(テーマ) | 社会教育の推進 | まちづくりの推進 | 学術・文化・ 芸術・スポーツ | 国際協力 | 子どもの健全育成 |
| 団体概要 (定款・会則による 団体のミッション 等) | 全国の高等学校及び生徒を対象として、フラガールズ甲子園競技大会の開催及び円滑な運営並びにフラ文化の普及等に関する事業活動を行うことにより、フラの本質である美しさの「表現力」や「創造性」そして「豊かな心」を育む文化的、芸術的、情操教育等の効果を、高校生時代に身につける機会を提供し、もって、子どもから大人にいたる各世代の人びとがフラを通して希望の持てる明るい学園生活と地域社会の形成に寄与することを目的とする。 | | | | |
| 直近3年の主な 事業 (実績) | ○フラガールズ甲子園の実施 ○いわきフラ祭り・プロジェクト | | ○フラガールズ甲子園運営事務局 | | |
| 今年度主な事業 (取組み) | ○上記事業の継続と参加者拡大 | | | | |
| 役員・会員 | 役員 | 理事/監事 | 15/4人 | 正会員 | 29人 個人/団体 |
| 前年度収入(決算) | 15,000 千円 | | | | |
| 地域へのメッ セージ | 「フラガールズ甲子園」や「フラウィーク」の制定により、「フラの街いわき」をさらに世界に発信し、力強い心の復興を実現することを願っております。 | | | | |

◆いろいろお伺いしました

a. 震災から7年を過ぎ、今後への展望

昨年の大会は参加高校が25校ありましたが、まだ北海道地区の参加がありません。今後は参加校を増やしつつ各地区での地区大会を経ていわき市で決勝大会を出来るように、名実とも全国大会となるよう努力していきます。

c. 資金集め(会費・寄付)や自主事業収入について

現在は、うつくしま基金などの補助金を原資にして、いわき市との共催で大会を運営しておりますが、近い将来は運営の自立化をめざし、大会経費の削減や外部協賛金のお願いを展開しながら、全国にこの大会の意義を広く知らしめていきたいと考えています。

d. 法人格の選択及び認定NPO法人・公益法人取得について

近い将来は、認定NPO法人への展開を考えております。

e. 活動への福島の復興の影響

震災から7年が過ぎましたが、この地方にとってまだまだそれぞれの場面で放射能の風評被害が影響しております。「フラガールズ甲子園」をさらに広く展開することにより地域外の人々の視線が少しずつ放射能の影響に対する安心・安全の感情が芽生えてくるのではないかと考えます。